

岐阜大学環境月間行事

## 第 34 回 岐阜大学フォーラム

### 「環境ユニバーシティフォーラム」

# 「自然環境について考える

## ——『文明の災禍』ということ」

講師： 内 山 節 氏

哲学者、NPO法人・森づくりフォーラム代表理事

近著：『ローカリズム原理～新しい共同体をデザインする～』

(農文協 2012年)

と き： 11月15日(木) 16:10 ~17:40

と ころ： 岐阜大学全学共通教育棟  
多目的ホール

#### 要旨：

「自然とは何か」という問いに対する答えは地域によって異なる。とすると日本の人々は自然をどのようなものとしてとらえ、自分たちの社会をつくってきたのであろうか。人間たちは自然とどのような関係をつくりながら生きてきたのか。そのことによってどのような自然環境が生まれてきたのか。

近代=現代的世界は自然を人間が征服し、管理するものとしてとらえようとした。この人間中心主義は自然環境を破壊していったばかりでなく、征服し管理する人間の力を競い合う時代をつくりだした。それが市場での競争や効率を重視する社会を生みだし、今日の市場原理主義的な世界をも生みだしてしまった。

この時代のもつ異常さを明らかにしたのが原発事故でもあった。自然環境を考えることは、近代以降の社会を問いなおすことでもあり、この社会をどう作り直すのかという課題でもある。

お問い合わせ先： 岐阜大学環境対策室 058(293)2117

Forum@Gifu-u.